

## 令和4年度 名寄市 全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年4月19日（火）に、小学校6年生、中学校3年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」が実施され、名寄市では市内全小・中学校の該当児童生徒（小学生161名、中学生175名）が当調査に参加しました。

このたび、調査結果をもとに、児童生徒が身に付けるべき学力の一部分であることなどに留意しながら分析を進め、名寄市内小・中学校の児童生徒の学力や学習状況の傾向をまとめました。

つきましては、明らかになった課題を克服し、さらに児童生徒の学力や学習意欲の向上を図るために、学力や学習状況の傾向及び指導の改善策などについてお知らせいたします。市民の皆様におかれましては、本市の子どもたちに対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

### ■令和4年度全国学力・学習状況調査の概要

#### 1 調査の目的

☆義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること

☆学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること

☆さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること

#### 2 調査の内容

##### ①教科に関する調査

・実施教科

小学校：国語 算数 理科                      中学校：国語 数学 理科

・出題範囲

原則として調査する学年の前学年までに含まれる指導事項

・教科出題内容下記(1)と(2)の一体的問題

(1) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等

(2) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

##### ②児童生徒質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象とした、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

## 1 令和4年度全国学力・学習状況調査の特徴

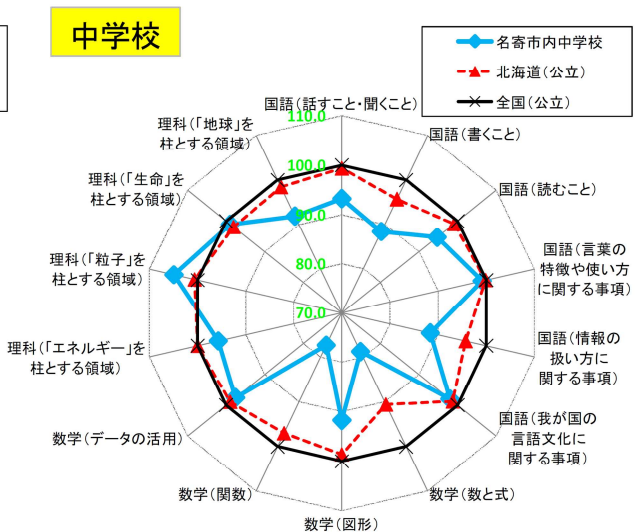
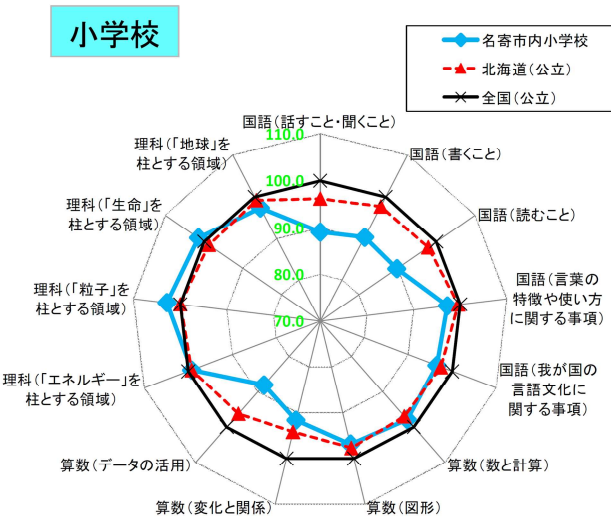
令和4年度全国学力・学習状況調査では、新しい学習指導要領にもとづき、小学校においては、相手とのつながりをつくる言葉の働きを捉える問題やプログラミング学習の問題等、中学校においては、情報の扱い方に関する事項の問題や一人一台端末を活用した場面の問題等が出題されました。

出題された問題を見ると、これからの時代に求められている「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」という「資質・能力の三つの柱」のもと、教科横断的な学びや授業の中で実社会や実生活と関わらせること、言語能力と情報活用能力をすべての教科の学習基盤と位置付けることなど、市内の教師にとって、今日的な授業づくりの参考となる問題が多く見られました。

## 2 名寄市における児童生徒の状況

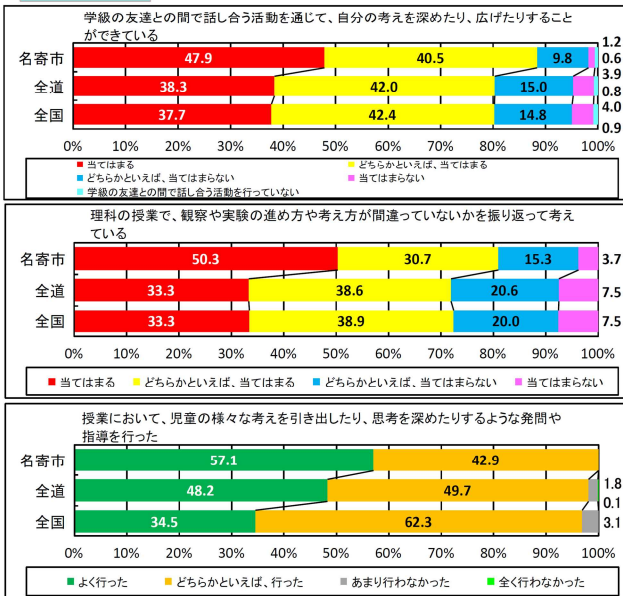
### (1) 教科の状況

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

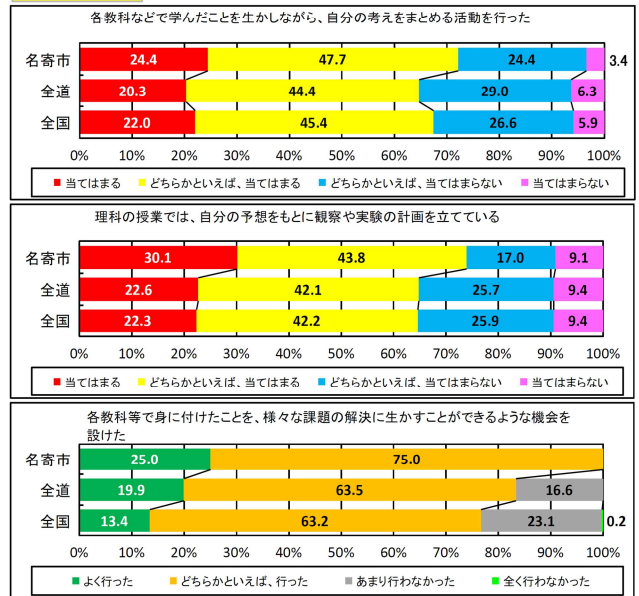


### (2) 児童生徒質問紙の状況

#### 小学校



#### 中学校



### (3) 結果の要因分析

#### 小学校

理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返る活動の充実を図ったことで、「粒子」「生命」を柱とする領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童の様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導を行ったりしたことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている児童が全国の割合を上回ったと考えられる。

#### 中学校

理科の授業では、課題を解決するために、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てる探求の過程の充実を図ったことで、「粒子」を柱とする領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるように機会を設けたことにより、主体的に各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめることができている生徒が全国の割合を上回ったと考えられる。

### 3 昨年度（令和3年度）名寄市の取組

(1) 名寄市教育委員会が市内小中学校に提示した内容

- ①取組1 「自分で計画を立て意味のある家庭学習を60分以上する習慣の育成」
- ②取組2 「家庭・地域と連携した情報モラルに関する指導の改善充実」
- ③取組3 「次の学習につながる書く活動を各教科の年間指導計画に位置付ける」（全教科）
- ④取組4 「単元等のまとまりの中で、各教科等の「見方・考え方」を働かせた学習を計画的に位置付ける」（全教科）
- ⑤取組5 「やる気をもって、難しいことにも挑戦する学習集団の育成に資する学級経営・学年経営の充実」

(2) 令和4年度の調査結果に基づく状況

- ・①については、家庭学習を60分以上する習慣は身に付いていない。
- ・②については、コロナ禍の影響もあって家庭でメディアに触れる時間が長い傾向にあった。
- ・③④⑤については、まだ浸透していない状況と考える。

### 4 令和4年度改善の取組

名寄市教育委員会では、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や、児童生徒の自己肯定感や自己有用感をさらに高める学級経営の充実のための取組を、市内各小中学校と連携を図りながら、推進してまいります。

また、各学校のPTA及び名寄市PTA連合会、各関係機関等と連携を図り、各種メディアとの付き合い方や家庭学習の取組について、保護者に対し、各学校を通じて取組の理解と連携を図ってまいります。

さらに、今年度は、昨年度の名寄市の取組を継続しながら、名寄市の児童生徒のさらなる学力向上のため、以下の内容を市内全小・中学校共通で取り組んでいきたいと考えております。

(1) 各教科の取組

①国語科

(小学校)

- ・授業では必ず自分の考えや感想を書かせる場面を設定すること。
- ・「言葉」に着目させ、語彙力を高める授業を工夫・展開すること。

(中学校)

- ・新聞記事や読書を通して語彙力を高める工夫をし、授業では、文章を段落ごとに分け、段落ごとに内容を理解させ、その後内容をつなぎあわせ、全体をつかめるようにすること。

②算数・数学科

(小学校)

- ・授業では数学的活動を重視し、日常生活の具体的場面を取り上げ、考えさせること。
- ・基礎的・基本的な内容を繰り返し、指導すること。

(中学校)

- ・基礎的・基本的な内容を繰り返し指導すること。
- ・数学的活動の中で、言語活動の充実を図ること。
- ・数学的活動では、日常の事象や社会の事象から、その法則を見付けたり、観察や操作、実験などによって数や図形の性質などを見いだしたり、見いだした性質を発展させるなど工夫すること。

### ③理科

(小学校)

- ・授業では日常生活の事象と関連付けたり、自然の事物・現象に出合う時間を大切にすること。

(中学校)

- ・観察・実験の際に、着目する観点を知らせ、考えさせること。
- ・観察・実験の結果の処理の仕方について振り返り、表現の仕方や計画の立て方などを検討して改善する場面を設定すること。

### (2) 指導方法・指導体制の改善

- ①基礎的・基本的な内容の定着に向けた**学びなおしの機会の確保に努めること**。(休み時間や放課後の時間での指導) **各学校継続!**
- ②全国学力・学習状況調査問題は、現在、問われている学力と捉え、**調査問題を年間指導計画に位置付け、授業の中で実施すること**。 **必ず位置付ける!そして実践!改善!**
- ③プログラミング教育の計画及び指導の見直しと、その充実を図ること。
- ④読書指導の充実を図ること。

### (3) 学びに向かう集団づくり

- ①授業を効率的に進め、児童生徒の自ら学ぶ態度を養うため、全ての小・中学校で全学級における**一貫した学習規律の確立**を図ること。 **継続指導!**
- ②自己有用感をさらに高めるために、学級経営の充実を努め、児童生徒がお互いに認め、励ます**支持的風土の醸成**を進めること。 **ほめる!認める!励ます!(家庭と連携)**

### (4) 学習習慣の確立

- ①家庭学習をする時間(学年+10分)、場所、場の工夫(保護者が見守る、学習内容を確認する、「~ながら」勉強をしないなど)の設定などの例を提示し、**家庭と連携した取組**を進めること。 **家庭と連携!**
- ②学校教育活動全体で、児童生徒に「学ぶ」意義について、社会見学、ボランティア活動、職場体験、インターンシップなど、地域の協力を得ながら考えさせるようにすること。 **地域と連携!**

### (5) 情報モラルの育成 **家庭と連携!**

- ①情報モラルに関する**外部人材を活用した授業**を実施すること。
- ②メディアとの向き合い方について、現在問題となっている具体的事例をあげて、**考えさせる授業**を実施すること。
- ③家庭及びPTAと連携協力し、正しいメディアとの付き合い方についてともに考え、**学校と保護者が同じ視点で指導**すること。

## 1 小学校の教科に関する調査結果について

○「全国」とは全国の平均正答率のことです。

□・漢数字・( )・記号は設問番号を示しており、調査問題は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。 <https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

○授業改善策の例については、国立教育政策研究所の解説資料から一部を抜粋して掲載しています。

○国語・算数・理科ともに、「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施されています。

### 国語

#### <全国と比較し、成果があった設問>

1	二	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。 〔設問の概要〕 【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。
2	二	人物像や物語の全体像を具体的に想像する。 〔設問の概要〕 物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="text" value="A"/> に入る内容を書く。
3	三 ア	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 〔設問の概要〕 【文章2】の中の _____ 部アを、漢字を使って書き直す（ろくが）

#### <全国と比較し、課題が見られた設問>

1	四	互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。 〔設問の概要〕 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="text"/> でどのように話すかを書く。 〔授業改善策の例〕 ・児童が「話し合い」の場面において、異なる立場からの考えを聞き、様々な視点から検討するようにし、その上で、自分の考えを広げたりまとめたりすること ・その際、互いの立場や考えを尊重しながらも、自分の考えを伝えたり必要なことを質問したりすること ・話し合いを通して、言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることや、話し言葉では誤解されやすい同音異義語を避けるとよいことに気付くことができるように指導すること
2		登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える資料を用いた目的を理解し、表現の効果を考える。 〔設問の概要〕 一 「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する。 三 【山村さんの文章】の <input type="text" value="B"/> に入る内容として適切なものを選択する。 〔授業改善策の例〕 ・物語などを読む際には、「構造と内容の把握」「精査・解釈」に関する指導事項の系統を踏まえて指導すること ・「構造と内容の把握」については、下記の視点をもとに指導すること →第1学年及び第2学年： 場面の様子や登場人物の行動など →第3学年及び第4学年： 登場人物の行動や気持ちなど

		<p>→第5学年及び第6学年：登場人物の相互関係や心情などを ・「精査・解釈」については、下記の視点をもとに指導すること</p> <p>→第1学年及び第2学年：登場人物の行動</p> <p>→第3学年及び第4学年：登場人物の気持ちの変化や性格、情景を具体的に想像すること</p> <p>→第5学年及び第6学年：人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること</p>
③	二	<p>文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。</p> <p>〔設問の概要〕</p> <p>【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手に自分の考えを明確に伝えるためには、自分で書いた文章を読み返し、文や文章を整えることが必要</li> <li>・第5学年及び第6学年においては、下記の観点で文や文章を整えること <ul style="list-style-type: none"> <li>→内容や表現に一貫性があるか</li> <li>→目的に照らして適切な構成や記述になっているか</li> <li>→事実と感想、意見とが区別して書かれているか</li> <li>→引用の仕方、図表やグラフの用い方は適切か</li> </ul> </li> <li>・推敲で取り上げた観点を含め、様々な観点で互いの書いた文章を読み合い、感想や意見を伝え合うことによって、他者の文章のよいところを見付けるだけでなく、自分の文章のよいところを見付けることができるようにすること</li> </ul>

## 算数

### <全国と比較し、成果があった設問>

①	(1)	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる。 「 $1050 \times 4$ を計算する。」
	(2)	二つの数の最小公倍数を求めることができる。 「14と21の最小公倍数を求める。」
	(3)	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。 「カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く。」
③	(4)	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる。 〔設問の概要〕 ・1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く。
④	(2)	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している。 〔設問の概要〕 ・長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く。

<全国と比較し、課題が見られた設問>

1	(4)	<p>示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる三角形の面積の求め方について理解している。</p> <p>〔設問の概要〕 85×21 の答えが 1470 より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の問題を解決するために、算数で学習したことを基に、目的に応じて、数量の関係に着目し、数の処理の仕方を考えること</li> </ul>
2	(3)	<p>示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。</p> <p>〔設問の概要〕 果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。</p>
	(4)	<p>伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる。</p> <p>〔設問の概要〕 果汁が 30%含まれている飲み物に果汁が 180mL 入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・割合を用いて問題を解決するためには、問題場面の数量の関係に着目し、基準量、比較量、割合の関係や、伴って変わる二つの数量の関係について考察して数学的に表現・処理すること</li> <li>・日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の間を表現したりすることができるようにすること</li> <li>・伴って変わる二つの数量の間に比例の関係があることを見だし、その比例の関係を用いて、未知の数量を求めることができるようにすること</li> </ul>
3	(3)	<p>目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>〔設問の概要〕 1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の事象について、目的に応じて、必要なデータを収集し、観点を決めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目して考察すること</li> <li>・表の意味やグラフの特徴を理解し、目的に応じて、表やグラフに表したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることができるようにすること</li> <li>・数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりすることができるようにすること</li> </ul>
4	(1)	<p>正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。</p> <p>〔設問の概要〕 示されたプログラムについて、正三角形をかきことができる正しいプログラムに書き直す。</p>
	(4)	<p>示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる。</p> <p>〔設問の概要〕 示されたプログラムでかきことができる図形を選ぶ。</p>

	<p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図形の学習では、観察や構成などの活動を通して、図形の意味を理解したり、図形の性質を見付けたり、図形の性質を確かめたりすること</li> <li>・ 図形の構成の仕方について考察したりすること</li> <li>・ 図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質を基に、作図の仕方を多様に考えることができるようにすること</li> <li>・ 辺の数や辺の長さ、角の大きさなどに着目して、図形の意味や性質を基に、作図の手順からどのような図形ができるかについて判断したり、作図の仕方を筋道を立てて説明したりすることができるようにすること</li> </ul>
--	---

## 理科

### <全国と比較し、成果があった設問>

1	(1)	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。 〔設問の概要〕 見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ。
	(2)	自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。 〔設問の概要〕 自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く。
	(3)	昆虫の体のつくりを理解している。 〔設問の概要〕 昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を選ぶ。
	(4)	提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。 〔設問の概要〕 資料を基に、カブトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるのかを選ぶ。
2	(1)	メスシリンダーという器具を理解している。 〔設問の概要〕 一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く。
	(2)	メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている。 〔設問の概要〕 水 50mL をはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ。
3	(3)	自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。 〔設問の概要〕 鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験を行うために、実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く。



<全国と比較し、課題が見られた設問>

<p>②</p>	<p>(4)</p>	<p>自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。</p> <p>〔設問の概要〕 凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析・解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する場面を設定すること</li> <li>・自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で、分析・解釈するために、比較の考え方を働かせながら、差異点や共通点を捉えていく場面を設定すること</li> <li>・実証性、再現性、客観性などといった科学の基本的な条件を意識させること</li> <li>・児童同士が話し合う中で、比較の考え方を働かせながら、自分や他者の気付きを基に、差異点や共通点を捉え、新たな問題を見いだしていくような場面を設定すること</li> <li>・観察、実験などの方法を具体的に見通そうとすることを価値付けることの重要性について意識して授業を改善すること</li> </ul>
<p>③</p>	<p>(1)</p>	<p>日光は直進することを理解している。</p> <p>〔設問の概要〕 光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きて働く知識を習得するために、主体的な問題解決を通して、知識を概念的に理解させること</li> </ul>
	<p>(4)</p>	<p>実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。</p> <p>〔設問の概要〕 問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の結果を事実として分析して、解釈し、問題の視点で考察させるために、結論を導き出す際に、根拠となる事実と解釈を表現させること</li> <li>・指導する際は、問題に対する予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、観察、実験などを行った結果を事実として分析して、解釈したことを、結論の根拠として表現できるようにすること</li> </ul>
<p>④</p>	<p>(3)</p>	<p>観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。</p> <p>〔設問の概要〕 結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を分析して、解釈するに、提示された資料から数量、変化の大きさなどの特徴を読み取り、自分の考えを言葉で表現させるようにすること</li> <li>・指導する際は、資料から結論を導き出すために必要な数量、変化の大きさなどの特徴を見つけ、自分の考えをもち、それを表現し、他者と意見交換することの重要性について意識すること</li> </ul>

(4)	<p>水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。</p> <p>〔設問の概要〕</p> <p>鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 生きて働く知識を習得するために、主体的な問題解決を通して知識を習得させることや、知識を概念的に理解させること</li><li>• 指導する際は、習得した知識を、次の学習や生活などに生かすことができるようにすることや科学的な言葉や概念を理解して説明できるようにすること</li></ul>
-----	--

## 2 中学校の教科に関する調査結果について

○「全国」とは全国の平均正答率のことです。

□・漢数字・( )・記号は設問番号を示しており、調査問題は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。 <https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

○改善策の例については、国立教育政策研究所の解説資料から一部を抜粋して掲載しています。

○国語・数学・理科ともに、「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施されています。

### 国語

#### <全国と比較し、成果があった設問>

1	一	聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する。 〔設問の概要〕 スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す。
2	一	助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う。 〔設問の概要〕 意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する。
3	二	事象や行為、心情を表す語句について理解する。 〔設問の概要〕 「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する。
4	二	漢字の行書の読みやすい書き方について理解する。 〔設問の概要〕 最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する。
	三	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する。 〔設問の概要〕 書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する。

#### <全国と比較し、課題が見られた設問>

1	三	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。 〔設問の概要〕 スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く。 〔授業改善策の例〕 ・スピーチなどの言語活動を行う際には、話し手は、自分の伝えたいことを聞き手に分かりやすく伝えるために、場の状況や聞き手の興味・関心、情報量などを考慮させること ・聞き手に応じた語句を選択したり、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、言葉遣いなどに注意したりして話させること ・聞き手のうなずきや表情にも注意し、話の受け止め方や理解の状況を捉えさせること ・聞き手に自分の考えが十分伝わっていないと感じられたときには、分かりやすい語句に言い換えたり内容を補足したりさせること ・聞き手は、話の展開に注意しながら内容を聞き取り、互いの考えを比較したり、聞き取った内容や表現の仕方を評価したりさせること
---	---	---

2	三	<p>自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。</p> <p>〔設問の概要〕 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 意見文を書く際には、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にすること</li> <li>• 根拠を明確にするためには、まず、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認すること</li> <li>• 自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書くこと</li> <li>• 分かりやすい文章にするために、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができるようにすること</li> <li>• 読み手は、書き手の目的と意図を理解した上で、単なる印象ではなく、具体的な記述を取り上げて助言などをすること</li> </ul>
4	一	<p>行書の特徴を理解する。</p> <p>〔設問の概要〕 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 書写の学習で身に付けた資質・能力を、各教科等の学習や生活の様々な場面で積極的に生かす態度を育成すること</li> <li>• 毛筆を使用する書写の指導は、硬筆による書写の能力の基礎を養うことをねらいとしていることから、各学年に示されている書写の授業時数に依りて、毛筆を使用する書写の指導と硬筆を使用する書写の指導との割合を各学校と生徒の実態に即して、適切に設定すること</li> <li>• 書写の指導を取り上げて計画する場合には、〔知識及び技能〕〔思考力、判断力、表現力等〕の指導と関連させた指導計画になるように配慮すること</li> <li>• 主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか、学びの深まりをつくりだすために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で授業を構想すること</li> </ul>

## 数学

### <全国と比較し、成果があった設問>

3		<p>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している。</p> <p>〔設問の概要〕 容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ。</p>
---	--	--

### <全国と比較し、課題が見られた設問>

1		<p>自然数を素数の積で表すことができる。</p> <p>〔設問の概要〕 42 を素因数分解する。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 事象を数や式を用いて考察する場面では、数を和や積に表すなどして数量の関</li> </ul>
---	--	--

		係を捉え、事象の特徴を読み取り、説明することができるようにすること
③		<p>反例の意味を理解している。</p> <p>〔設問の概要〕 ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>命題や推測した事柄について考察する場面では、命題や事柄が常に成り立つことを説明するだけでなく、常に成り立つとは限らないことも説明できるようにすること。</li> </ul>
④		<p>一次関数の変化の割合の意味を理解している。</p> <p>〔設問の概要〕 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数を用いて事象を捉え考察する場面では、具体的な事象の中から伴って変わる二つの数量を取り出して、その変化や対応の様子に着目して関数関係を見だし、その関数の特徴を調べるために、変化の割合を求めること</li> </ul>
⑥	(2)	<p>目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。</p> <p>〔設問の概要〕 差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する。</p>
	(3)	<p>結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。</p> <p>〔設問の概要〕 ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する。</p>
		<p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数に関する事象を考察する場面では、成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明すること</li> <li>問題の条件を変えるなどして、統合的・発展的に考察すること。</li> </ul>
⑦	(2)	<p>目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。</p> <p>〔設問の概要〕 差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する。</p>
	(3)	<p>結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。</p> <p>〔設問の概要〕 ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する。</p>
		<p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会の事象を考察する場面では、データやグラフなどを適切に読み取り、データの傾向を捉え、批判的に考察し判断することが求められる場合があるので、判断の理由を数学的に説明できるようにすること</li> </ul>
⑧	(1)	<p>与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。</p> <p>〔設問の概要〕 与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く。</p>
	(2)	<p>事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。</p> <p>〔設問の概要〕 目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する。</p>

		<p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会の事象を考察する場面では、事象を理想化したり単純化したりして、その特徴を的確に捉え、事象を数学的に解釈することが求められる場合があるため、問題解決の方法を考え、それを数学的に説明できるように指導すること</li> </ul>
9	(2)	<p>筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる。</p> <p>〔設問の概要〕</p> <p>∠ABEと∠CBFの和が30°になる理由を示し、∠EBFの大きさがいつでも60°になることの説明を完成する。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形の性質を考察する場面では、成り立つと予想した事柄について、論理的に考察し、それを数学的に表現できるように指導すること+</li> </ul>

## 理科

### <全国と比較し、成果があった設問>

1	(2)	<p>モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる。</p> <p>〔設問の概要〕</p> <p>タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する。</p>
---	-----	--

### <全国と比較し、課題が見られた設問>

1	(1)	<p>日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる。</p> <p>〔設問の概要〕</p> <p>日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身に付けた知識と日常生活における経験を関連付け、身近な事象の中に問題を見いだして課題を設定し、科学的に探究する過程を通して、理科を学ぶことの意義や有用性の実感を高めるようにすること</li> </ul>
2	(2)	<p>継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる。</p> <p>〔設問の概要〕</p> <p>気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する。</p>
	(3)	<p>飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる。</p> <p>〔設問の概要〕</p> <p>上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する。</p>

		<p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気象とその変化の学習では、継続的に気象観測を行い、時間的・空間的な見方を働かせながら、気象要素と天気の変化を関連付けて捉えるようにすること</li> <li>・ 授業では、実感を伴った理解を図るために、観測データや空の様子を撮影した画像をネットワーク上に蓄積、共有して、考察すること</li> </ul>
③		<p>化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。</p> <p>〔設問の概要〕 水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとを指摘する。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理科では、身に付けた知識及び技能を分野や領域を横断して関連付け、身近な事象を多面的、総合的に捉えること</li> <li>・ 授業では、身近な事象として水素を燃料として使うしくみの例を取り上げた学習場面を設定するなど、化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能とを関連付けて、科学的に探究できるようにすること</li> </ul>
⑤	(1)	<p>力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。</p> <p>〔設問の概要〕 おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学的に探究する活動を通して見いだした規則性や関係性を、日常生活や社会と関連付けることで、理科を学ぶことの意義や有用性の実感を高めるようにすること</li> <li>・ 授業では、見いだした規則性や関係性を基に、身近な道具や技術などから新たな問題を見だし、課題を設定して科学的に探究できるようにすること</li> </ul>
⑥	(3)	<p>地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる。</p> <p>〔設問の概要〕 東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する。</p> <p>〔授業改善策の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地球」を柱とする領域では、時間的・空間的な見方を働かせ、観察結果や資料を基に規則性や関係性を見いだしたり、過去に起きた、又はこれから起こると考えられる事象を推論したりできるようにすること</li> <li>・ 授業では、化石や露頭の観察結果から推論の妥当性を検討したり、複数の露頭の観察から地層の広がり方を推論したりする学習活動を取り入れること</li> </ul>

### 3 小学校の児童質問紙調査、中学校の生徒質問紙調査の結果について

○「全国」とは全国の児童生徒が回答した割合のことです。

○( )は質問番号を示しており、質問事項は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

#### ◆小学校の児童質問紙調査の結果について

##### <全国と比較し、望ましい傾向を示した項目>

項目	本市の児童の傾向
(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	「している」「どちらかといえば、している」という割合が高い
(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	「している」「どちらかといえば、している」という割合は全国と同水準
(7) 自分には良いところがあると思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(8) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(9) 将来の夢や目標を持っていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(10) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(12) 人が困っているときは、進んで助けていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合が高い
(13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	「当てはまる」の割合が高い
(15) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(16) 学校に行くのは楽しいと思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合が高い
(18) 友達と協力するのは楽しいと思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合が高い
(32) 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	「ほぼ毎日」「週3回以上」の割合が高い
(36) 5学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	「役に立つと思う」の割合が高い
(43) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合が高い
(45) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合が高い
(46) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合が高い
(47) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が	「当てはまる」「どちらかといえ



努力すべきことを決めて取り組んでいますか	「当てはまる」の割合が高い
(48) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合が高い
(61) 理科の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合がとても高い
(63) 理科の勉強の内容はよくわかりますか	「当てはまる」という割合がとても高い

<全国と比較し、改善を要する、または課題を示した項目>

項目	本市の児童の傾向
(5) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか	「2～4時間以上」という割合が高い
(6) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか	「2～4時間以上」という割合が高い
(20) 家で自分で計画を立てて勉強していますか（学校の授業の予習や復習を含む）	「よくしている」という割合が低い
(20) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	30分以上2時間未満と回答する児童の割合が高い
(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	2時間未満と回答する児童の割合が高い。
(25) 新聞を読んでいますか	「ほとんど、または全く読まない」と回答する児童の割合が高い
(31) 放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか	「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている」と回答する児童の割合が高い
(49) 国語の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が低い

◆中学校の生徒質問紙調査の結果について

<全国と比較し、望ましい傾向を示した項目>

項目	本市の生徒の傾向
(7) 自分にはよいところがあると思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	「当てはまる」という割合がとても高い
(32) 2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか	「ほぼ毎日」「週3回以上」という割合が高い
(33) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレット	「ほぼ毎日」「週3回以上」という

などのICT機器を、どの程度使っていますか	割合が高い
(34) 学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか	「ほぼ毎日」「週3回以上」という割合が高い
(35) 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。	「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」という割合が高い
(43) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(45) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(46) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(47) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(48) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い
(67) 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や事件の計画を立てますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が高い

<全国と比較し、改善を要する、または課題を示した項目>

項目	本市の生徒の傾向
(4) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	「きちんと守っている」「だいたい守っている」という割合が低い
(5) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか	「4時間以上」という割合が高い
(6) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか	「4時間以上」という割合が高い
(12) 人が困っているときは、進んで助けていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が低い
(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	「よくしている」という割合が低い
(21) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）	「30分以上、1時間より少ない」という割合が高い
(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）	「1時間より少ない」という割合が高い

(25) 新聞を読んでいますか	「ほとんど、または、全く読まない」という割合がとても高い
(30) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が低い
(31) 放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか	「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている」の割合が高い
(53) 数学の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という割合が低い

#### 4 児童生徒質問紙調査と教科平均正答率のクロス集計について

##### (1) 平均正答率の高い児童生徒が回答した特徴的な質問紙項目

質問紙項目	回答
朝食を毎日食べていますか	「している」
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	※1時間未満の項目を回答
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	※1時間以上の項目を回答
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「4時間以上」と回答

##### (2) 平均正答率の低い児童生徒が回答した特徴的な質問紙項目

質問紙項目	回答
朝食を毎日食べていますか	「全くしていない」
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	※3時間以上の項目を回答
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	「全くしていない」
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「全くしない」
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	「当てはまらない」

## 5 調査問題における市内児童生徒の課題と学習指導要領との関連

小学校及び中学校の調査問題は、学習指導要領をもとに出題されております。

※下記の表は学習指導要領と関連している内容項目について掲載しております。

※網掛けは本市における調査結果から課題のある学習指導要領内容の項目です。

小学校国語		1・2年	3・4年	5・6年
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項		カ	アイエオ
	(2) 情報の扱い方に関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項		エ(イ)	
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと		エ	イウオ
	B 書くこと			イウオカ
	C 読むこと		イウ	アイウエ

### 【3・4年国語】

#### (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

カ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割。段落の役割について理解すること。

#### C 読むこと

イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。

ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。

### 【5・6年国語】

#### (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

エ 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

#### A 話すこと・聞くこと

オ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

#### B 書くこと

オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

小学校算数	1年	2年	3年	4年	5年
A 数と計算	(2)ア(イ)		(1)ア(ウ) (2)ア(イ) (3)ア(イ) (4)ア(ア) イ(ア) イ(イ)	(3)ア(イ) (4)ア(ア) (4)ア(エ) (4)イ(イ) (6)ア(ア) (6)イ(ア) (7)ア(ア)	(1)ア(イ)
B 図形		(1)ア(イ)	(1)ア(ア)	(1)ア(イ) (1)イ(ア) (5)ア(ア) (5)イ(ア)	(3)ア(ア)
C 測定	(1)ア(イ)	(1)ア(ア)	(2)ア(イ)		
C 変化と関係	(1)ア(イ)				(1)イ(ア) (2)ア(ア) (2)イ(ア) (3)ア(ア) (3)ア(イ)
D データの活用			(1)ア(ア) (1)ア(イ) (1)イ(ア)	(1)ア(ア)	(1)ア(ア) (1)ア(イ)

【3年生算数】

B 図形

(1) 図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目すること。

#### D データの活用

- (1) データの分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
    - (ア) データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現すること。

#### 【4年生算数】

##### A 数と計算

- (4) 小数とその計算に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (ア) ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ること。
    - (エ) 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができること。

##### B 図形

- (1) 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (イ) 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。
  - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
    - (ア) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。
- (5) 角の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (ア) 角の大きさを回転の大きさとして捉えること。
  - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
    - (ア) 図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりすること。

#### 【5年生算数】

##### B 図形

- (3) 平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (ア) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。

##### C 変化と関係

- (1) 伴って変わる二つの数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
    - (ア) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。
- (2) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (ア) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること。
- (3) 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。

#### D データの活用

(1) データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解すること。

中学校国語		1年	2年
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	アウオ	ウオ
	(2) 情報の扱い方に関する事項	イ	
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	エ(イ)	ウ(ア)
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	ウ	エ
	B 書くこと	ウ	
	C 読むこと	イウ	

#### 【中学1年国語】

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。

オ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。

(2) 情報の扱い方に関する事項

イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。

(3) 我が国の言語文化に関する事項

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

(イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

A 話すこと・聞くこと

ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

B 書くこと

ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

C 読むこと

イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。

【中学2年国語】

A 話すこと・聞くこと

エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

中学校数学	1年	2年
A 数と式	(1)ア、イ	(1)ア(イ) (1)イ(イ) (2)ア(ウ)
B 図形		(2)ア(ア) (2)ア(イ) (2)イ(イ)
C 関数	(1)ア(ウ) (1)イ(イ)	(1)ア(ア)
D データの活用	(1)イ(ア) (2)ア(ア)	(1)ア(ア)

【中学1年数学】

A 数と式

(1) 正の数と負の数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。

(イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。

(ウ) 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現すること。

(イ) 正の数と負の数を具体的な場面で活用すること。

C 関数

(1) 比例、反比例について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。



- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
  - (ア)関数関係の意味を理解すること。
  - (イ)比例、反比例について理解すること。
  - (ウ)座標の意味を理解すること。
  - (エ)比例、反比例を表、式、グラフなどに表すこと。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
  - (イ)比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。

#### D データの活用

- (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
  - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
    - (ア)目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。

### 【中学2年数学】

#### A 数と式

- (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
  - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
    - (イ)文字を用いた式を具体的な場面で活用すること。

#### B 図形

- (2) 図形の合同について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
  - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (ア)平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解すること。
  - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
    - (イ)三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること。

#### C 関数

- (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
  - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (ア)一次関数について理解すること。

#### D データの活用

- (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
  - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (ア)四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解すること。